

### 1. 「JF 日本語教育スタンダード」の推進 (P.25 参照)

#### (1) 「JF 日本語教育スタンダード」改訂

「JF 日本語教育スタンダード 2010」およびその「利用者ガイドブック」の第 2 版を発行し、初版とあわせてこれまでにそれぞれ約 6,000 部を配布。ウェブサイトで英語版・韓国語版データを公開。

#### (2) 「JF 日本語教育スタンダード」関係セミナー等

国内外のセミナー、学会、研究会を通じた紹介・活用推進事業 51 件を実施。

#### (3) 「JF 日本語教育スタンダード普及活動助成」開始

「JF 日本語教育スタンダード」の普及に資する活動を支援する助成プログラムを開始し、海外の日本語教育学会・教師会等が行う事業 8 件に対し助成を実施。

### 2. JF 日本語講座 (P.25 参照)

独立行政法人国際協力機構 (JICA) が支援する 5 カ国 (ウクライナ、カザフスタン、ウズベキスタン、モンゴル、ラオス) の日本センターにおいて、JF 日本語講座を開講。JF 海外拠点を含め、26 カ国 29 カ所で JF 日本語講座を実施。

### 3. 海外の日本語教育状況に関する調査 (P.25 参照)

「2012 年度日本語教育機関調査」を実施。世界 203 カ国・地域における日本語教育に関する情報・データを提供。

### 4. インターネットを活用した教育ツール (P.26 参照)

#### (1) WEB 版「エリンが挑戦! にほんごできます。」

年間アクセス数約 550 万件 (2010 年度からの累計アクセス数約 1,360 万件)

#### (2) 「みんなの教材サイト」

年間アクセス数約 337 万件 (2002 年度からの累計アクセス数約 6,771 万件)

#### (3) 「まるごと + (まるごとプラス)」

2013 年 2 月一般公開

#### (4) 「日本語でケアナビ」

年間アクセス数約 75 万件

#### (5) 「アニメ・マンガの日本語」

年間アクセス数約 285 万件

#### (6) 「NIHONGOe (にほんごいい) な」

年間アクセス数約 111 万件

### 5. 日本語能力試験 (P.27 参照)

#### (1) 第 1 回試験 7 月 1 日:

海外 22 カ国・地域、103 都市で実施し、202,943 人が受験。

#### (2) 第 2 回試験 12 月 2 日:

海外 61 カ国・地域、201 都市で実施し、246,123 人が受験。

新たな試験実施都市は、第 1 回試験ではホーチミン等 6 都市、第 2 回試験ではヒューストン等 7 都市。

年間合計の海外受験者数は 449,066 人。

### 6. 日本語専門家の海外派遣 (P.28 参照)

#### (1) 日本語専門家: 39 カ国 123 ポスト

日本語上級専門家: 26 カ国 38 ポスト

日本語専門家: 30 カ国 64 ポスト

日本語指導助手: 14 カ国 21 ポスト

#### (2) インターン派遣

日本語教師養成課程を有する国内の大学との連携により、48 大学 358 人の学部生・大学院生に、27 カ国・地域の 107 機関における日本語教育実習 (インターン) の機会を提供。

#### (3) 米国若手日本語教員 (J-LEAP) 派遣

日米間の文化・人材交流と米国における日本語教育支援を目的とする事業。新規に 10 人を派遣。継続派遣者と合わせ計 23 人が、各地の初中等教育機関でティーチング・アシスタントを務め、現地コミュニティでの日本文化・社会理解促進活動に協力。

### 7. 日本語教育支援プロジェクト (P.28 参照)

海外拠点および各地の中核的な日本語教育機関とのネットワーク「JF にほんごネットワーク (通称: さくらネットワーク)」のメンバーは、44 カ国 2 地域の 123 機関 (2012 年度末)。21 の海外拠点で実施する事業スキーム 147 件を運用。さらに、26 カ国 2 地域の中核メンバーに対する助成事業として 66 件を支援。

この他に、海外拠点からの支援が届きにくい国・地域において、日本語教育機関・団体が実施する活動 58 カ国 158 件を支援。

### 8. 海外の教師を対象とした研修 (P.29 参照)

#### (1) 政策研究大学院大学との連携による大学院教育

日本語教育指導者養成プログラム (修士課程): 4 カ国 4 人、4 カ国 4 人 (継続)

日本語文化プログラム (博士課程): 3 カ国 3 人 (継続)

#### (2) 海外日本語教師上級研修

教材開発等の課題を有する日本語教師を対象にしたプログラムに 8 カ国 10 人が参加。

### (3) 海外日本語教師訪日研修

短期：36カ国・地域 123人

長期：32カ国 57人

(国別)

韓国：50人

中国（大学・中等教育）：58人

タイ：61人

フィリピン：22人

マレーシア：14人

ハンガリー：5人

### (4) 日系人教師研修

独立行政法人国際協力機構（JICA）より日系人「継承日本語教育研修」の一部を引き継ぎ、外国語としての日本語教育に特化した新規研修を実施。2カ月間の研修に12人が参加。

## 9. 海外の学習者を対象とした研修 (P.29 参照)

### (1) 専門日本語研修（外交官・公務員）

37カ国・地域 39人／8カ月間

日本語学習に加え、官庁、公的機関、大学等教育機関、民間企業等の訪問、関係者との意見交換、さらに、大阪大学大学院国際公共政策研究科との連携講座も実施。

### (2) 専門日本語研修（文化・学術専門家）

21カ国 67人／2または6カ月間

日本語学習に加え、文化・学術専門家としての活動に必要なインタビュー・スキル向上のための研修などを実施。

### (3) 日本語学習者訪日研修等

大学生：23カ国 83人

成績優秀者：64カ国 66人

JF 講座優秀者：20カ国 35人

高校生：11カ国 31人

李秀賢氏記念韓国青少年訪日研修：30人

米国 JET 記念高校生招へい研修：32人

国内大学連携大学生：25カ国・地域 91人

大阪府JET来日時研修：4カ国 15人

## 10. 経済連携協定に基づく看護師・介護福祉士候補者の日本語教育 (P.29 参照)

国内研修で最大限の効果をあげるための準備段階として、来日前の現地日本語研修を実施。インドネシアでは看護師48人、介護福祉士107人が、フィリピンでは看護師65人、介護福祉士83人が、それぞれ6カ月間の研修を受講。

## 11. 受託研修

### (1) 21世紀東アジア青少年交流計画（JENESYS）受託事業

東アジア若手日本語教師特別招へい：11カ国 49人

東アジア日本語移動講座：8カ国 39人

東アジア日本語履修大学生（夏季）：10カ国 36人

### (2) その他の受託事業

青年日本語教師派遣前研修：1カ国 21人

ロシア初中等教育日本語教師研修：11人

香港中文大学大学生訪日研修：10人

豪ヴェクトリア州高校生訪日研修：22人

大阪ガス国際交流財団インドネシア人大学生日本語研修：2人

キャンボン・ベトナム日本語学習者訪日研修：2人

韓国慶尚南道日本語教師訪日研修：20人

香港仁濟医院第二中学校日本語コース訪日研修：10人

ニュージーランド日本語教師訪日研修：7人

カナダ・マニトバ州高校生訪日研修：8人

## 12. 各センターの図書館

日本語国際センター 来館者数：18,798人

関西国際センター 来館者数：17,341人